

# 第45回 全国土地改良大会 福井大会

## 優良事例紹介

～ 土地改良における男女共同参画の取組 ～





# <優良事例紹介> 定司俊憲 南砺市土地改良区 理事長 『土地改良区における女性理事登用』



## 土地改良区における女性理事登用

南砺市土地改良区  
理事長 定司 俊憲



### 南砺市土地改良区の概要

散居村で有名な砺波平野の南部と、世界遺産の相倉・菅沼合掌造り集落を有する五箇山からなる南砺市に所在。

農家の高齢化や土地持ち非農家の増加等、土地改良区を取り巻く環境の変化に対応し、土地改良区の運営基盤の強化を図り、土地改良事業を適正かつ円滑に実施するため、令和4年2月1日に富山県南砺市内の5土地改良区（福野町土地改良区、城端土地改良区、井口村土地改良区、井波町土地改良区、福光町土地改良区）が合併し誕生。富山県内最大規模の土地改良区。

所在地：富山県南砺市

設立年月日：令和4年2月1日（新設合併）

地区面積：7,220ha

組合員数：6,622名

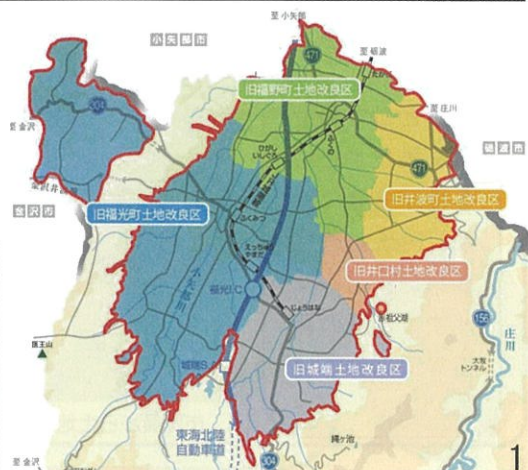
総代数：81名

理事数：27名（うち女性1名）

監事数：4名（うち女性1名）

職員数：14名（うち女性6名）

※ 令和5年4月1日現在





## <優良事例紹介> 定司俊憲 南砺市土地改良区 理事長 『土地改良区における女性理事登用』

### 女性理事登用の背景

- ◆合併に際し、
  - ①地域づくり協議会との連携を図るため、南砺市内にある地域づくり協議会のエリアから理事を選出することに決定。
  - ②土地改良区の運営体制の強化を図るため、総合的な観点から意見を述べてもらうことを目的に地区選出枠とは別に全域枠（学識経験者枠）を設けることを決定。
- ◆土地改良区職員の半数が女性であり、女性職員が相談しやすい風通しのよい職場環境づくりを行う必要。
- ◆県から、学識経験者枠の理事について、男女共同参画の観点から土地改良や農業分野に知見を持った女性を登用してはどうかとの助言。
- ◆地区内に農業委員、農業協同組合理事、土地改良区の総代、旧井波町の男女共同参画推進委員等を経験された女性理事候補者が存在。

令和4年4月1日

### 富山県初の土地改良区女性理事が誕生

2

### 理事の紹介



氏 名：杉森 桂子（すぎもり けいこ）

就任年月日：令和4年4月1日（員外理事）

経 歴：南砺市井波地区において、米、里芋などの生産を行っている。農協理事や農業委員など、農業関係団体の役職を歴任したほか、NPO法人グリーンツーリズムとやま理事、とやま帰農塾南砺塾塾長を務めるなど、都市農村交流やグリーンツーリズムの推進にも取り組んでいる。

主な業務：土地改良事業の実施に関して地元調整等を担っている。

### 活動状況

理事としての役割を果たすため、各種研修会に参加し、土地改良事業の仕組みに関する知識の習得等に努めている。



市職員から土地改良事業の説明を受けている様子



理事現地研修会で圃場整備実施地区を調査

3



## 女性理事登用の効果

- ◆ 杉森理事の真摯に取り組む姿を見て、他の理事も刺激を受け理事の業務に奮闘している。
- ◆ 役員会において積極的に発言をいただいております、活発な議論が行われている。
- ◆ 理事に就任してまだ1年のため、これから様々な効果を期待している。

## 男女共同参画に向けた今後の取組

- ◆ 土地改良区を女性が活躍できる場とするため、女性理事複数名の登用や女性理事の役割の明確化など、土地改良区としてどう対応すべきか検討を行う。
- ◆ 女性の農業委員や農協理事、地域の女性農業者とつながりが持てるネットワークの構築を目指したい。
- ◆ とやま水土里ネット女性の会との連携、杉森理事の人脈を活かし女性理事候補者の掘り起こしを行いたい。

4

## 女性理事登用に向けたメッセージ



- 我々には、土地改良をより良くし次世代につなげていく責務がある。
- 女性理事登用が土地改良区の発展につながると信じて、次世代のためにも前向きに取り組んでいきましょう。
- 女性理事登用には色々な課題がある。課題解決に向けて、行政のバックアップをお願いしたい。

- 女性だからできないではなく、女性だからできることがある。食を支える土地改良。女性ならではの視点を取り入れてはいかがでしょうか。
- 全国の女性理事の皆さん、土地改良の発展に向けて頑張ってください。



5



# <優良事例紹介> 定司俊憲 南砺市土地改良区 理事長 『土地改良区における女性理事登用』

## 【参考】

### ○南砺市土地改良区定款（抜粋）

（役員の定数）

第19条 この土地改良区の役員定数は、理事27人及び監事4人とする。

2 前項の理事定数のうち、5分の3以上は、組合員であつて耕作又は養畜の業務を営む者（組合員である法人の業務を執行する役員を含む。）とする。

3 第1項の理事定数のうち、1人は学識経験者とする。

4 第1項の監事定数のうち、1人は法第18条第6項各号の全てに該当する者とする。

### ○南砺市土地改良区役員選挙規程（抜粋）

（役員の選挙）

第2条 役員のうち学識経験者でない理事は、各被選挙区につきその区域に所属する組合員のうちから選挙するものとする。

2 役員のうち学識経験者である理事は、被選挙区のうち全区（本土地改良区全域）に所属する組合員のうちから選挙するものとする。

3 （略）

4 前3項の規定による役員の被選挙区及びその区域から選挙すべき役員の定数は、次のとおりとする。

被選挙区	被選挙区域	定数	
		理事数	監事数
全区	南砺市土地改良区全域	1人	



なんとし

## 南砺市土地改良区



南砺市は、富山県南西部にある市。散居村で有名な砺波平野の南部と、世界遺産の相倉・菅沼合掌造り集落を有する五箇山からなる。

所在地：富山県南砺市

地区面積：7,220ha

組合員数：6,622名

理事数：27人（うち女性1人）

監事数：4人（うち女性1人）

職員数：14人（うち女性6人）

（令和5年4月）

令和4年2月に、南砺市内の5土地改良区（福野町土地改良区、城端土地改良区、井口村土地改良区、井波町土地改良区、福光町土地改良区）が合併し、発足。

合併を契機として、土地改良区の運営に多様な意見を反映させるため、女性理事を登用。

### 【女性理事登用の背景】

合併を契機として、土地改良区の運営に関して多様な意見を反映させるため、地区選出枠とは別に全域枠（学識経験者枠）を設け、理事を登用することとし人選を行っていたところ、県から、男女共同参画の観点から、農業分野に知見を持った女性を登用してはどうかとの助言を受け、女性理事登用に至ったもの。

しょうづか

## 女性理事登用にについて、定司理事長にお聞きしました

- 女性理事登用に際しては、地区選出枠では女性の選出は困難であるため、全域枠（学識経験者枠）を設けることが有効だと考えている。
- 最近では土地持ち非農家が増えており、土地改良区と農業者のつながりが希薄になっていくと感じるため、女性理事登用に關しては、女性農業者を理事に登用することが望ましいと考えているが、候補者の掘り起こしに苦労する。農協、農業委員会や地域の女性農業者とのつながりを持つことが大切である。
- とやま水士里ネットワーク女性の会を活用し、女性農業者のネットワークを作った上で、女性理事候補者の掘り起こしを行うことが有効と考える。
- 女性が、土地改良区理事のオファアがあった時に抵抗を感じないための環境づくりが必要である。



すぎもり けいこ

## 杉森 桂子 さん

南砺市土地改良区 理事

- 令和4年4月に理事就任。現在1期目。
- 南砺市井波地区において、米、里芋などの生産を行っている。
- 農協理事や農業委員など、農業関係団体の役職を歴任。
- NPO法人グリーンツーリズムとやま理事、とやま帰農塾南砺塾塾長を務めるなど、都市農村交流やグリーンツーリズムの推進に取り組んでいる。



## 女性理事について、杉森理事にお聞きしました

### ●理事就任の経緯は？

- 南砺市土地改良区が発足する際、土地改良区の運営に多様な意見を取り入れるため、女性理事を登用することとなり、農協理事や農業委員を経験し、農業分野に關する知識を持っていた私に声がかかった。
- 農協理事や農業委員の経験があったため、土地改良区理事のオファアがあった時も抵抗はなかった。
- 夫が土地改良区の総代を務めていたこともあり、土地改良事業に關してある程度理解はしていた。

### ●実際に理事をやってみて感じたことは？

- 農協理事や農業委員の経験が役に立っていると感じる。土地改良区の役員には顔見知りが多かったため違和感なく溶け込むことができた。
- 理事に就任したばかりで土地改良区で取り組みたいことのイメージはまだ沸いていないが、持っている知識が活かせるような取り組みを行っていききたい。

### ●女性理事登用に向けたアドバイス！

- 土地改良事業実施の際、理事は地元調整役となるため、土地改良事業の仕組みを理解しておく必要がある。理事として活躍するためには、土地改良に關する知識が必要不可欠。そのためには、勉強会や研修会等を開催するなど周囲のフォローアップが必要。
- 農協理事、農業委員を経験し、農業分野に關する知識を養ってから土地改良区の理事に就任する形がいいのでは。
- 女性も自ら勉強し、自分の仕事はしつかりこなすことが重要。



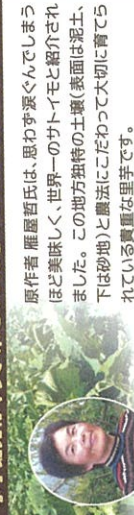
# 杉森桂子氏 活動報告

## ● 女性目線で活動を提案し、組織の活性化を通じて地域農業の振興に大きな役割を果たされている。

- ▲ 平成2年から、山野地域づくり協議会「里芋で元気な町づくりプロジェクト」に参加。里芋農家以外の人々と交流し里芋の普及に参加してもらおうよう助言及び協力。
- ▲ 平成20年から、グリーンツーリズムとやま理事、平成23年から 富山県農業農村整備推進委員、平成27年から 南砺市農業農村整備環境検討委員を歴任し、女性が農業に携わることへの意見や、生活の場である散居村の保全に関する提言、グリーンツーリズムなどの都市農村交流との関りを提案。

## 山野地区特産里芋づくり

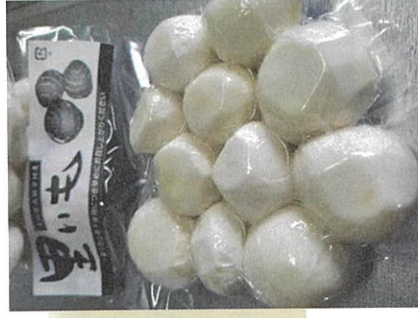
小学館発行「美味しんぼ」にもとりあげられました。



日本全国特産品 富山県より

杉森さんが栽培した里芋が「美味しんぼ」に掲載

真空皮むき里芋



©COFFRE ARTISANS-JAPAN INC

トラクターで里芋の収穫作業を行う  
杉森さん

## 令和4年度 農山漁村男女共同参画推進協議会会長賞 受賞 農山漁村男女共同参画推進協議会会長賞 受賞

令和4年度 農山漁村女性活躍表彰



農山漁村男女共同参画推進協議会会長賞  
受賞を田中幹夫南砺市長に報告

